

31年度 施政方針の要旨

2月26日(火)31年第1回議会定例会が開会され、冒頭、黒田市長が新年度に望む施政方針を表明しました。

図 政策企画課 ☎892-0121



学校教育部

- ▷ **児童の見守り** 全小学校を対象に、IoTを活用した通学路の見守りシステムの導入を進め、登下校の安全対策の強化を図ります。
- ▷ **学校教育** ALTの増員や教職員への研修、先進校視察の実施により、学びの更なる充実を図ります。

生涯学習推進部

- ▷ **スポーツ** 子どもからお年寄りまでスポーツを楽しむ環境整備のため、総合型地域スポーツクラブの設立に向けた検討を進めます。
- ▷ **児童の居場所づくり** フリースペース事業の実施日数の拡大に努めます。
- ▷ **図書館** 星田コミュニティーセンター図書室の機能を星田会館に移設し、滞在型図書施設としての充実を図ります。

消防本部

- ▷ **連携体制** 隣接地域での消防広域化を含めた、新たな相互応援体制の構築などにより、消防力の強化に努めます。

水道局

- ▷ **上下水道** 私市浄水場跡地に計画している「浄水池」及び「送水ポンプ棟」の築造工事を進め、自己水8、企業団水2の割合での「よりおいしい水」の給水に向けて取り組みます。
- ▷ **水道管の更新** 「新水道ビジョン」に基づいた、送配水管の更新・耐震化等に着手します。

おわりに

今後は、2021年に市制施行50周年を迎えることをはじめ、星田北・星田駅北土地区画整理事業のまちびらきや、新庁舎および新小中学校の整備の具体化など、大きな節目やイベント、事業が控えています。

また、今後本市が向かうべき基本的な指針となる総合計画基本構想や、都市計画の指針である都市計画マスタープランの改定作業も控えています。

これまでのまちづくりの成果や課題を検証し、人口動態や本市を取り巻く環境の変化などをしっかり捉えながら、市民の皆様とともに今後のあるべき「かたの」のイメージを固めていく作業が始まります。

交野は、これからまちなちの魅力を高め、成長できるポテンシャルのあるまち、すなわち伸びしろのあるまちです。新たな元号となる年に、新たな市長戦略を掲げ、市の方向性や市政運営について、市民の皆様との「共有」「共感」を大切に、また、そのための「発信」に努めながら、全力で市政を前に進めてまいりたいと考えております。

福祉部

- ▷ **地域の支え合い** 平常時のみならず、災害等の非常時における、地域の見守り・支え合い活動を推進します。
- ▷ **障がい福祉** 障がい者やその家族が地域で安心して生活が送れるよう、手話言語条例の制定に向けた検討や啓発などの取り組みを進めます。
- ▷ **高齢者福祉** 高齢者の自立支援や地域包括ケアの充実に取り組み、時代のニーズにあった外出支援について検討を進めます。

環境部

- ▷ **収集体制の構築** 今後の職員退職の進捗をふまえ、市内環境衛生の保全に向けた、より効率的な業務や、災害などの非常時の対応など、より安定的な収集体制を目指します。
- ▷ **地球温暖化対策** 国が提唱する「クールチョイス宣言」に本市も参画し、低炭素社会に向けた更なる啓発や、市民・事業者・行政一体での取り組みを進めます。

都市計画部

- ▷ **星田北のまちづくり** 星田北・星田駅北地区の土地区画整理組合において事業進捗が図られるよう、国・府補助金の確保や技術的・財政的支援とともに、市街路事業に係る設計等に取り組みます。
- ▷ **公共交通** 誰もが利用できる公共交通は市民生活にとって不可欠なため、維持、継続方策の検討について、地域住民や関係機関と連携して進めます。
- ▷ **危険住宅移転** がけ地の崩壊等のおそれのある区域に存する住宅の移転を促進するため、「がけ地近接等危険住宅移転事業補助制度」を創設します。

都市整備部

- ▷ **インフラの長寿命化** 「橋梁長寿命化修繕計画」・「舗装修繕計画」に基づき適切な管理を行い、インフラの長寿命化を図り円滑な移動空間を確保します。
- ▷ **農業施策** 昨年の地震や台風被害を教訓とし、災害時でも農地を活用できるよう防災農地登録制度について調査検討をします。

教育総務室・学校規模適正化室

- ▷ **学校教育ビジョン** 教育大綱の改定に合わせ、次期学習指導要領の全面実施や小中一貫教育を視野に入れ、「学校教育ビジョン」の見直しを進めます。
- ▷ **学校規模適正化** 第三・第四中学校区の適正化を検討するとともに、第一中学校区での交野・長宝寺小学校、第一中学校を一体とした新たな教育環境の実現に向け、基本計画の策定を進めます。

各部の重点施策

危機管理室

- ▷ **防災対策** 昨年の大阪北部地震、7月豪雨、大型台風の経験を踏まえ、避難所の環境整備や自主防災組織への防災資機材整備助成の拡充や防災情報の発信、防災訓練の支援などに取り組みます。
- ▷ **防犯対策** 交野警察署と連携し、パトロールや交通安全研修など、地域ぐるみの対策に取り組みます。

総務部

- ▷ **組織力向上** 人材育成基本方針と目標管理型評価制度の運用により、組織力向上を図ります。
- ▷ **平和** 市民の戦争体験集「平和の礎」をデータ化し、ホームページ等で閲覧できる仕組みを確立します。

企画財政部

- ▷ **財政運営** 将来に渡り持続可能な財政運営を行うため、財政規律・財源確保の取り組みを進めます。
- ▷ **行政運営** 現状分析と検証を行い、様々な課題に柔軟に対応できる行政組織の構築に取り組みます。

公共施設等再配置準備室

- ▷ **公共施設等再配置** 市民の皆様の役に立つ施設を目指し、市民説明会の開催による市民合意を図りながら、市としての庁舎整備に関する基本的な考え方を記した「庁舎整備基本構想」の策定を進めます。

市民部

- ▷ **星田出張所の機能移転** 建物が耐震化されておらず、老朽化しているため、「公共施設等再配置計画」を踏まえ、機能移転に向けた取り組みを進めます。
- ▷ **国民健康保険** 新たに重複・多剤服薬への取り組みを行い、健康寿命の延伸や健康増進を図りつつ、医療費の適正化に取り組みます。

健やか部

- ▷ **子育て施策** 子育てにかかる様々な課題や市民ニーズを把握し、関係機関等と調整の上、次期「子ども・子育て支援事業計画」の策定に努めます。
- ▷ **こども園** 市立第1認定こども園の民営化に向け、移管への取り組みとともに、新たな補助金制度を創設し、全市民的な教育・保育の質の向上に取り組みます。
- ▷ **待機児童解消** これまで330人を超える定員拡大を図りましたが、保育料無償化に伴い、入所児童の増加が予測されるため、更なる定員の拡大に努めます。

はじめに

全国的に進行している少子化・高齢化、そして人口減少は、地域経済の縮小や社会保障費の増加など、暮らしやまちの姿、自治体運営に大きく影響を及ぼします。

これまででは、子育て世代への支援や教育の充実、健康寿命の延伸や地域包括ケア、防犯・防災や公共施設老朽化対策など、まちの魅力を高め、活力を維持するための取り組みを積み重ねてきました。

現在、全国7割以上の自治体が転出超過により人口が流出するなか、本市は2年連続で転入超過という結果となり、特に子育て世代が移り住む流れが出てきました。

こうした流れをさらに確かなものとし、市民の皆様これまでの取り組みの成果をより実感していただくことが、これからの私の大きな使命であり、そのための取り組みを「市長戦略2019-2022」として示し、市政の課題解決や改善、まちの活力維持に加え、「まちの成長」を目指してまいりたいと考えております。

予算の概要

新年度の予算につきましては、歳入の根幹をなす市税収入や地方交付税は一定確保できているものの、社会保障関連費用の増加などの構造的要因から、厳しい予算編成となりました。

市長戦略や財政運営基本方針を指針とし、財政目標や中長期的な見通しを踏まえ、将来への備えをしつつも、本市の魅力を高め、まちを成長させるための配分となるよう編成いたしました。

平成31年度当初予算

一般会計	258億3,009万円
国民健康保険特別会計	82億7,140万1千円
介護保険特別会計	59億2,507万2千円
公共用地先行取得事業特別会計	7億4,502万3千円
後期高齢者医療特別会計	12億9,900万5千円
水道事業会計	32億5,645万6千円
下水道事業会計	23億5,056万4千円
総額	476億7,761万1千円